

## 校園内研修のさらなる充実に向けて

### 1 はじめに

研修事業の改善・充実に資することを目的として、大学等学識経験者・民間企業関係者・学校関係者からなる「大阪市教育センター研修事業評価委員会」を、3回開催し、研修事業の一層の充実をめざして協議を進めました。

### 2 委員会の協議内容

#### 今年度の重点課題

#### 「校園内研修のさらなる充実に向けた研修事業のあり方」

第1回（7月15日）、第2回（11月4日）、第3回（2月3日）に実施しました。

第3回では、委員会のまとめとして、(1)「経営方針」の最終報告(2)研修の成果と課題(3)研修の効果測定(4)「大阪市教育センターの研修アンケート」集計(5)平成21年度研修計画について協議しました。

以下、協議における主な意見を掲載します。

- ・ 経営方針の達成状況で、未着手がないことは評価できる。校内研修とセンター研修の関係を念頭において計画する必要がある。
- ・ 特別支援コーディネーター研修など、最近特別支援に関する研修が充実してきた。
- ・ OJT事業について、受講者の93%、校長の97%が「自身の指導力向上に効果があった。」と回答している。校内全体の取り組みへの広がりが必要である。
- ・ 学校マネジメント研修ではミッション探索やSWOT分析も入ってきてよくなっている。
- ・ 子どもたちの学力向上の取り組みには、授業研究を伴う校内研修をいかに活性化させるかが大切である。そのために教育センターがどのようにサポートす

るのか。

- ・ 研修をセンター内で完結するのではなく、校長会や研究会をはじめとして学校園と連携をしてより高度な研修にして欲しい。
- ・ 管理職育成については、マネジメントの楽しさ、管理職の魅力を伝える内容を考えていかなければならない。
- ・ 研修効果測定の結果を次の研修に生かすこと、結果を共有して研修構築の基礎データとすることが大切である。
- ・ 5年次研修の満足度が低かった。研修の意義が不明確なために参加意識が高くないことと関連しているのではないか。

貴重なご意見を参考に、来年度より、さらなる改善を図ります。

- ◆ 子どもたちの学力向上に資する研修を充実します。(PISA型の学力をつける研修等)
- ◆ 小学校2年目教員に対してのOJT事業をより充実・拡充します。
- ◆ 授業研究を伴う校内研修の活性化をサポートします。
- ◆ 新任・2・5・10年次のキャリアステージに応じた研修体系の周知徹底を図ります。
- ◆ 教育センターの研修と校内研修の連動を図ります。
- ◆ 効果測定の対象を拡大するとともにより一層充実を図ります。
- ◆ 学校マネジメント研修は、基礎編・発展編と分け、対象者をさらに拡大します。
- ◆ 大阪市教師養成講座については、対象を中学校に広げるための研究を行います。